

## 帯状疱疹について知っておこう

2025.12  
no.214

## 飯塚病院だより

飯塚病院だより no. 214

2025年(令和7年)12月10日 編集・発行 飯塚病院地域共創・広報戦略課 印刷 マット印刷株式会社

## 感染症科のご紹介

2019年4月1日に福岡県筑豊エリアで初となる「感染症科」を新設しました。感染症を専門とする診療科は都市部に集中しており、地方では極めて稀な存在です。当科は、感染症専門医の育成拠点でもあり、当地域での臨床経験を通して、全国に良質な専門医を輩出できるよう尽力して参ります。

感染症診療では、微生物や治療薬に関する専門的な知識が求められます。感染症科は年齢や基礎疾患、感染臓器に関わらず、「微生物が引き起こす全ての病気を診ます」。

さらに院内の全診療科が行う感染症診療をサポートし、適切な治療内容を提案することで、入院患者さんの死亡率の低下や在院日数の短縮(早期退院)、ならびに薬剤耐性菌の抑止に貢献したいと考えています。さらに看護師、薬剤師、臨床検査技師と協力し、感染制御チームとして院内外の感染対策や抗菌薬適正使用支援を行い、地域の医療機関における耐性菌の拡大防止に努めています。

また感染症科には感染症を専門とする医師が4名在籍し、主に火曜日・金曜日の午前中に外来を実施しています。結核や梅毒の治療といった保険診療だけでなく、高齢者の带状疱疹や肺炎球菌、破傷風などワクチンでの予防を主体とした外来も行っております。加えて、渡航/旅行医学に精通した専門医も在籍しており、海外渡航者への健康相談や予防接種、病気以外の渡航中のアドバイスを受ける事ができます。

他診療科と連携して、地域住民の皆さん及び患者さんへ最善の感染症診療を提供できるよう、今後も精進して参りますので、お悩みがありましたら何でもご相談ください。

【監修】 感染症科部長 小出容平

01 新任部長のご紹介  
(2025年10月1日就任)呼吸器外科  
岡 壮一

2025年10月より呼吸器外科部長として赴任しました岡壮一です。

2004年産業医科大学を卒業し、同大学第2外科(胸部・呼吸器外科)に入局いたしました。その後、大学病院および関連病院にて呼吸器外科領域の修練を積みました。近年ではロボット支援下手術を取り入れた手術もこなっております。飯塚病院では、患者さんに第一に、より良い手術を提供できるように、呼吸器内科の先生方や地域の先生方と連携協力を深め、当院の呼吸器外科手術を安心・安全・確実なものとして、べく尽力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

形成外科  
平川 愛子

2025年4月から飯塚病院に赴任し、10月より形成外科の部長代行を拝命いたしました。平川愛子と申します。形成外科は対象となる特定の臓器はなく、全身のあらゆる外傷や治療困難な傷などを対象としています。他科との連携を円滑に行い患者さんや地域の先生方のお力になれるように日々精進していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

02 広報誌「飯塚病院だより」  
名称募集のお知らせ

いつも「飯塚病院だより」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。当院では、患者さんや地域の皆様に役に立つ情報をお届けできるよう、広報誌「飯塚病院だより」を発行してまいりました。この度、より親しみやすく、より有益な情報をお届けするために「飯塚病院だより」の名称を装い新たに変更することとなり、皆様から新しい名前の案を広く募集いたします。皆様のアイデアが、これからの広報誌を創ります。素敵なご提案をお待ちしております！

## 【新名称募集要項】

- ・応募資格：飯塚病院をご利用の方、地域の皆様、当院職員など、ごなたでもご応募いただけます。
- ・新名称のテーマ：飯塚病院と地域を結ぶ架け橋となるような、親しみやすく、分かりやすい名前。
- ・応募方法：以下の必要事項をご記入の上、「はがき/メール/グーグルフォーム」にてご応募ください。
- 1 新しい広報誌の名称(ふりがなをご記入ください)
- 2 名前に込めた想いや意味(簡単な理由でも構いません)
- 3 応募者の氏名
- 4 連絡先(電話番号またはメールアドレス・住所(記念品贈呈にあたって使用いたします))

応募期限：2026年1月30日(金)まで

選考方法：院内選考委員会にて厳正に選考いたします。

応募宛先：はがきの方は〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町

3-83 地域広報課宛

メールの方はEmail: kouhou@aih-net.com

グーグルフォームの方は下のQRコード

の読み取りをお願いいたします。

※いずれの応募方法でも、必要事項に漏れがある場合、受付ができません。ご留意ください。

必要事項をご確認の上、「応募ください」。

発表新名称は、「2026年4月発行の広報誌/病院ホームページ」にて発表いたします。

採用された名称の応募者(複数の場合は抽選)には、ささやかですが記念品を贈呈いたします。

03 各種SNSについて  
のお知らせ

このたび、飯塚病院公式インスタグラムを開設しました。地域住民の皆さまの健康に役立つ情報や、当院での取り組みやイベントの様子など様々な情報を発信していきます。フォローやいいねお待ちしております。

公式LINEでも皆さまへ情報をお届けしていますので、併せて友達登録をお願いいたします。



## 公式LINEの友だち登録の手順

## QRコードから友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」↓QRコード
- ② 左のQRコードを撮影
- ③ 追加をタップで登録完了

## ID検索から友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」↓検索
- ② 「ID」を選択 → 「@gcu3427e」を入力
- ③ 追加をタップで登録完了

LINE公式  
アカウント

医療に関する「知っ得」情報を、LINEでお届け。

飯塚病院



飯塚病院

QRコードから検索できます

ホームページ

医療者監修コラム  
ピカラダ

LINE@



facebook



〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83

Tel.0948-22-3800(代表)



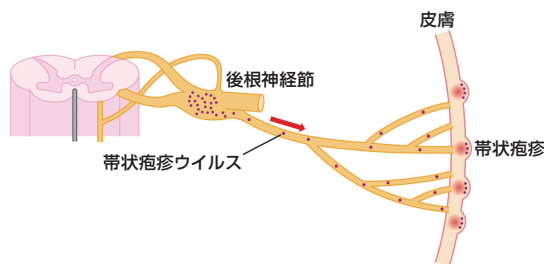
## 特集 带状疱疹について知っておこう

2025年度から65才の方などへの带状疱疹ワクチンの予防接種が、予防接種法に基づく定期接種の対象になりました。この機会に带状疱疹とはどのような病気なのか、またその予防についてお伝えいたします。

### 带状疱疹とは？

皆さんは「带状疱疹（たいじょうほうしん）」という病気を存じでしょうか。テレビや新聞などでも取り上げられる機会が増え、聞いたことがあるという方も多いと思います。带状疱疹の原因は「水痘带状疱疹ウイルス（VZV）」で、水ぼうそうの原因ウイルスと同じものです。幼少期に水ぼうそうにかかった後、このウイルスは脊髄の神経節に潜伏し、加齢や疲労、ストレスなどで免疫力が低下すると再び活動し、神経や皮膚で炎症を起こします（再活性化）。

日本人の50歳以上ではVZVの抗体保有率は90%以上とされ、ほとんどの方が体内にウイルスを抱えています。つまり誰にでも発症の可能性があり、実際に80歳までに約3人に1人が带状疱疹を経験するとされています。



### 带状疱疹の症状



再活性化したVZVは神経に沿って皮膚へ到達し、痛みや発疹を引き起こします。まず皮膚の違和感やピリピリとした痛みが現れ、数日～1週間ほどして赤い斑点や水ぶくれ（水疱）が出現します。発疹は体の片側に带状に広がるのが特徴で、水疱がかさぶたになるまで1～2週間程度かかります。

治癒後も「带状疱疹後神経痛（PHN）」という強い痛みが残る場合があります。約2割の患者さんで数ヶ月～数年続くことがあります。さらに、顔面や眼の周囲に発疹が出た場合は、視力障害、顔面神経麻痺、髄膜炎など重い合併症を引き起こすこともあります。

### 带状疱疹のリスク因子

带状疱疹は40歳以降で増加し、特に高齢者、糖尿病などの持病がある方で発症しやすくなります。免疫抑制剤・抗がん剤治療中の方、HIV陽性の方など免疫が低下している場合はさらにリスクが高まります。健康な若い人でも発症することがあり、「疲労」「ストレス」も大きな誘因です。

### 診断と治療

診断には抗原検査やPCR検査が用いられます。治療は抗ウイルス薬の内服が中心で、発症から早期に開始するほど効果的です。PHNが残った場合は、痛みに応じて鎮痛薬や神経痛の薬を使います。

水疱の中にはウイルスが含まれており、水ぼうそうにかかったことがない人に感染させる可能性があります。水疱が破れた際はガーゼなどで覆うことが大切です。全てかさぶたになれば感染力はなくなります。

### 带状疱疹の予防とワクチン

日頃からバランスのよい食事や休養をとり、免疫力を保つことが大切ですが、最も有効な予防策はワクチン接種です。現在、日本で利用できるのは「生ワクチン（従来の水痘ワクチン）」と「不活化ワクチン（シングリックス®）」の2種類です。

生ワクチンは手軽に接種できますが、効果の持続期間が5～7年と比較的短い点が課題です。一方でシングリックスは、2回接種で少なくとも10年以上有効とされ、発症予防効果は約90%、PHN予防効果も9割近くと非常に高いのが特徴です。



### 接種方法と助成制度

日本では50歳以上の方、または免疫が低下している18歳以上の方に接種が推奨されています。2025年度からは高齢者の定期接種が始まり、65歳の方（2029年度までは70・75・80歳など

節目年齢も対象）には自治体から費用の助成が受けられます。具体的な助成額は自治体毎に異なるため、ホームページ等でご確認ください。

シングリックスは通常2か月あけて2回接種します。接種部位の痛みや発熱、倦怠感が出る場合がありますが、多くは数日で改善します。



### まとめ

带状疱疹は身近で、多くの方が一生のうちに発症し得る病気です。特に50歳以上ではリスクが高まりますが、ワクチン接種により発症と後遺症の両方を大幅に減らすことができます。今年度65歳になれる方をはじめ、接種対象の方はぜひワクチンを検討してください。

当院では、かかりつけ患者さんを対象に带状疱疹ワクチンの接種を行っています。ご不明な点があれば、感染症科までお気軽にご相談ください。

### 感染症科 医師紹介



部長  
小出 容平  
(コイデ ヨウヘイ)

専門分野…  
感染症・呼吸器疾患  
認定医…  
抗菌化学療法認定医  
結核・抗酸菌症認定医  
専門医…  
日本専門医機構認定内科専門医

#### メッセージ

2024年4月より入職しました感染症科医師の小出 容平と申します。浜松で初期研修を終え、長崎大学で主に呼吸器内科の研鑽を積んできました。幅広い呼吸器疾患の中でも感染性疾患に興味を持ち、現在は感染症診療を主として精進しております。感染症は老若男女問わず命を脅かす危険な病気です。何かお困りな事がありましたら、当科外来までお気軽にご相談ください。

